

歴史民俗資料館

『王者の家』展

…はにわ「家」が語る富士山古墳…

町歴史民俗資料館では、平成5年度に富士山古墳の発掘調査を行った際に出土した国内最大級の家形埴輪の復元作業を行ってまいりましたが、この度作業が完了し、10月22日から11月23日まで第8回企画展『王者の家』展を開催、展示します。

ぜひこの機会に、「みぶ」のすばらしい古墳文化をご覧ください。
(関連記事P8・9)



復元された円柱をもつ家（復元高159cm）



入母屋造りの家出土状況（平成5年9月）

まずチャレンジ!!それが健康への第一歩

栄養・運動&リラックス

健康ふくしまつり

楽しみながら健康と福祉を考える

ひとりひとりのやさしさは、社会の資本です

第10回健康ふくしまつりが10月1日、町保健福祉センターで行われ、親子連れやお年寄りなど、4000人を超える人出でにぎわい、健康と福祉の多彩な催しを満喫しました。

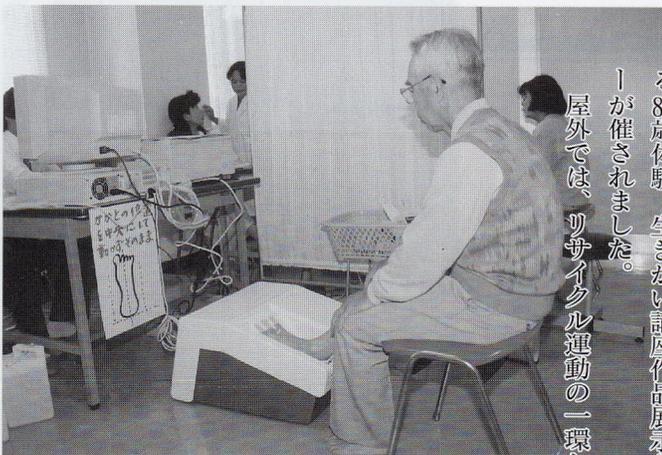
同センター内では、骨密度測定をはじめ、訪問看護指導員によるお年寄りの介護アドバイス、医師・栄養士による健康・育児相談などの健康コーナーや、「障害つてどんなことなの？」をテーマとした、ロボによる80歳体験、生きがい講座作品展示などの福祉コーナーが催されました。

屋外では、リサイクル運動の一環として今回初めて

フリーマーケットが開かれたほか、車椅子などの体験コーナー、災害時の救急炊き出し実演、模擬店などが設けられました。

また、屋外の特設ステージでは、生きがい講座OBによるダンス発表や手話劇・歌、壬生寺保育園園児による「円仁太鼓」、「重甲ビーファイターショー」なども行われ、大ぜいの人でにぎわいました。

そのほか、町総合公園までの往復約5kmのコースを歩く健康ウォークも行われ、参加者は各自思いのペースでウォーキングを楽しんでいました。



骨の健康チェック、骨密度測定



今回初のリサイクルフリーマーケット



生きがい講座作品展示

三歳児よい歯のコンクール

入賞児10名を表彰

入賞者

◎最優秀

仲谷 元 (幸町二丁目)

◎優秀

須藤 未来 (中泉)

◎優良

倉井麻裕実

(おもちゃのまち)

落合絵梨

(上表町)

山川友里恵 (台坪)

上野裕子 (駅東)

佐野由基 (六美町北部)

小倉杏奈

(県営壬生住宅)

遠藤和輝

(上長田)

山上 大

(緑町三丁目)



最優秀の仲谷元くん (右)
優秀の須藤未来ちゃん (左)

「壬生町三歳児よい歯のコンクール」の入賞児10名が、健康ふくしまつり会場において表彰されました。

当コンクールは、町の歯科保健の向上を図るため、三歳児健診を受けたお子さんを対象に、平成5年から行われているものです。

訪問看護指導員による
お年寄りの介護アドバイス
⇒



← 80歳体験ロボ、
車椅子、アイマスク
などの体験コーナー

↓



福祉・健康標語入選者表彰

福祉標語

小学校の部（6年生）

◆最優秀賞

「できることから始めれば

きつと広がる福祉の輪」

菊地健太郎（安塚小）

◆優秀賞

毛塚哲生（藤井小）

◆佳作

青木 崇、葭葉重典、
木村枝里香（壬生小）小太刀幸太、
古川 賢（壬生東小）栄松真弓、
渡辺綾乃（睦小）山崎雄大（安塚
小）

中学校の部（1年生）

◆最優秀賞

「親切をされる喜び する勇氣」

木野内公美子（壬生中）

◆優秀賞

小平友香、元木孝年
（南大飼中）

◆佳作

大豆生田緑、大橋一博、
菊元健太、芳賀万里子（壬生中）
武田久美子、赤羽根聖、小島佑一
（南大飼中）

一般の部

◆最優秀賞

「尽くされるより

尽くしてやれる幸福感」

馬場良子（幸町一丁目）
森田 則子（至宝町北）

◆優秀賞

馬場良子（幸町一丁目）
森田 則子（至宝町北）

渡辺清雄（国谷中央）

◆佳作 日向野保（仲通町）石
井末代（六美町南二）

健康標語

小学校の部（6年生）

◆最優秀賞

「活気あふれる壬生の町

心も体も健康体」

◆優秀賞

大栗千春（壬生東小）
細井崇明（壬生小）

◆佳作

清水恵美、高山瑠美
高野育巳（壬生小）
羽生田小）青柳雅士（藤井小）
上田由香里（壬生北小）神永香織、
早乙女修代（稲葉小）甫坂達哉
（壬生東小）川瀬幸子（安塚小）

中学校の部（1年生）

◆最優秀賞

「健やかに 暮らせる喜び

あふれる笑顔」

◆優秀賞

鈴木美紀（壬生中）
田中 毅（壬生中）

◆佳作

高木香緒里、渡邊裕美
（壬生中）

一般の部

◆優秀賞

鈴木正浩（安塚二）、
梁島久子（稲葉下馬木）、中村ミ
イ（今井）

◆佳作

渡辺清雄（国谷中央）

福祉・保健事業

功労者を表彰

町の福祉と保健事業発展のため
献身的活動を続け、その功績が特
に顕著な個人（14名）及び団体（3
団体）が、健康ふくしまつりの会
場において表彰され、賞状と記念
品が贈られました。

受賞された方は、次の方々です。

福祉部門

《在宅支援》

上原 初江（至宝町北）

《朗読ボランティア》

市川千恵子（おもちゃのまち）

《配食サービスグループ》

阿部 雅子（緑町四丁目）

《ライオンズクラブ》

金子 幸夫（仲通町）

《福祉施設職員》

石下 之規（しもつけ荘）

糸川 益子（しもつけ荘）

川俣由枝子（みなと荘）

感謝状

北小林自治会

桂 久男（宇都宮市）

保健部門

七奉会（宇都宮市）
マザーテレサ共労者会
（宇都宮市）

《予防接種》

東海林正憲 嘱託医師・国谷外道

《健診》

村田宣弘 嘱託医師・六美町北北

関口文子（看護婦・緑町三丁目）

《母子保健衛生》

瓦井 節子（安塚中央）

山田キヨ子（六美町南二）

森田 則子（至宝町北）

交通事故撲滅を誓う

交通安全町民大会に400人参加

交通事故のない明るく住みよい町づくりを旨とした町総合安全会主催による第20回壬生町交通安全町民大会が9月20日、壬生中央公民館において、町交通安全協会をはじめ栃木警察署、町内各種団体などから約400人が参加して開かれました。



大会であいさつする清水町長



羽生田小学校1年
木野内 正志



壬生小学校2年
増田 佳晃

悲惨な事故のない 明るいまちづくり

大会の主催者として清水町長は、「シートベルト着用や交通安全教育の趣旨の徹底を図るとともに、交通ルール・マナーのなお一層の徹底をしてもらい、悲惨な交通事故をなくし明るく住み良い町づく

大会の主旨として清水町長は、「シートベルト着用や交通安全教育の趣旨の徹底を図るとともに、交通ルール・マナーのなお一層の徹底をしてもらい、悲惨な交通事故をなくし明るく住み良い町づく

りを進めていきたい」とあいさつしました。また、大会は交通事故犠牲者への黙とう、交通安全功労者関係表彰、ポスター・作文入選者表彰、最優秀作文発表、児童から交通指

大会宣言

交通事故を防止し、安全で快適な生活環境を確保することは、町民すべての願いであります。

私たち町民は、「人命尊重」を基本理念として、交通安全思想の普及・高揚を図り、交通事故のない明るく住みよいまちづくりを目指し、次のことを実践していくことを宣言します。

一、私たちは、「思いやり」と「譲り合い」の精神をもって子どもやお年寄りを交通事故から守ります。

一、私たちは、シートベルトやヘルメットを正しく着用し、安全運転を励行します。

一、私たちは、交通規則を守り、無謀運転・飲酒運転は「絶対にしない、させない」運動を推進します。

一、私たちは、交通安全について家族みんなで話し合い、交通事故防止に努めます。

一、私たちは、道路や交通安全施設を大切にし、安全な交通環境を保持します。

平成7年9月20日



警察官や交通指導員さんへ感謝の花束が贈られる

導員・警察官へ花束贈呈が行われ、最後に交通安全母の会田中ミヨ会長より、交通事故防止の徹底を誓う「大会宣言」が読み上げられました。大会の後、交通安全教育映画「お地藏さんになった三姉妹」が上映され、参加者の交通安全に対する意識の高揚が図られました。

表彰

【功労者表彰】

倉井國男（原宿）、和久井友雄（上新町）、濱田一男（六美町南二）、田中作蔵（至宝町北）、渡辺正美（落合）、藤澤 操（安塚中央）、篠原佳江（東下台）、杉山絹子（上表町）、野澤初江（上通町）、石澤裕子（上表町）、福田弘子（仲通町）、板子美佐子（本郷）、佐藤成江（鹿島）、梁島フミ子（鹿島）、石川弘子（東原）、小野口トキエ（本郷）、齊藤和子（安塚一）、大久保 光（上長田）、鈴木節子（安塚一）、山崎静子（六美町南二）、瓦井節子（安塚中央）、黒尾チエ（城南）、小林トシ（万町）、角田節子（六美町南一）

【感謝状】

小松金治（元交通教育指導員）、大場和男（交通指導員）、青木茂男（交通指導員）、藤澤 操（交通指導員）、横山宗太郎（交通指導員）、大林芳美（栃木警察署主任生交番）、渡辺一洋（栃木警察署おもちゃのまち交番）

【ポスター】

☆最優秀賞 木野内正志（羽生田小1年）、増田佳晃（壬生小2年）
青木 希（稲葉小3年）、鈴木俊太（壬生東小4年）、大出真理恵（稲葉小5年）、岩波鈴佳（壬生東小6年）中島辰徳（南犬飼中1年）、平岩卓（南犬飼中2年）

【作文】

☆最優秀賞 寺内彩夏（壬生小1年）
橋本和哉（藤井小1年）、大木美穂（睦小1年）、高木千有（壬生小2年）、小管 航（稲葉小2年）
山野智彰（安塚小2年）、平岩彩（睦小3年）、神永順子（羽生田小3年）、駒井 恵（安塚小3年）多ヶ谷菜摘（壬生小4年）、

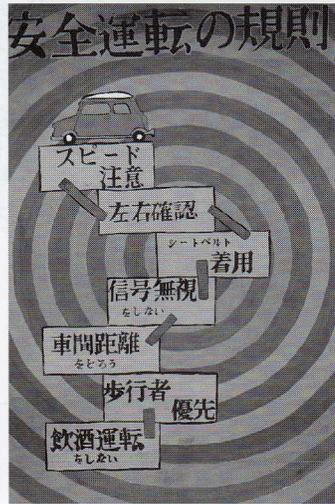
別井聖恵（羽生田小4年）、大垣善弘（壬生北小4年）、木村亜弥子（壬生小5年）、奥村 光（睦小5年）、堀内美智子（安塚小5年）田所朋子（藤井小6年）、毛塚あゆみ（睦小6年）、松本幸枝（壬生北小6年）、古沢一麻（壬生中1年）鈴木美紀（壬生中1年）、杉山史弘（南犬飼中1年）、柏崎香（壬生中2年）、山根孝史（壬生中2年）、西島祐実（南犬飼中2年）小平有美（南犬飼中3年）

☆最優秀賞 宇野貴博（壬生東小2年）大栗道子（南犬飼中2年）
☆優秀賞 峯 卓也（壬生小1年）大垣 淳（壬生北小3年）、古谷津有希（壬生東小4年）、阿久津幸江（稲葉小5年）、福田友香（壬生東小6年）入江千陽（南犬飼中1年）、海老沼三奈美（南犬飼中3年）

※大会の席上发表された最優秀作品2編は次ページに紹介します。



稲葉小学校3年
青木 希



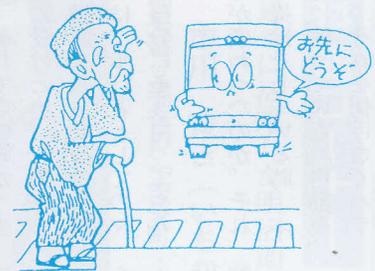
南犬飼中学校1年
中島 辰徳



南犬飼中学校2年
平岩 卓



壬生東小学校4年
鈴木 俊太



壬生東小学校5年
岩波 鈴佳



稲葉小学校5年
大出 真理恵

交通安全作文

わが家の交通安全



壬生東小学校2年 宇野 貴博

「ターくん、なつちゃん、おかあさん。サイクリングに行くよ。」

にわから、おとうさんのこえ。ぼくと、おねえちゃんのなつちゃんは、ヘルメットをかぶってにわに出た。

いつものとおり、おとうさんを先とうににして、ぼく、おねえちゃん、おかあさんのじゅんでサイクリングに出かけた。

さいしょは、うら通りで、森の小道を走る。たくさんのみどりで、とてもきれいだ。時どき、車とすれちがうので、ぼくたちは一れつになって走る。大通りに出る。信号が目につく。ぼくたちは、自てん車の通る道に入った。

先とうのおとうさんが止まった。「ここはね、小学校低学年の女の子が、自てん車にはねられたところなんだよ。」

「歩道きょうのところよ……」

「前は、歩道きょうがなかったけれど、じこの後、歩道きょうがつくられたんだよ。」

「どうして、はねられたの。」

「その時は、太ようがしむ時で、うんでんする人は、ちようど西にむかっていたのでまぶしくて目がくらんで、女の子に気がつかなかったんだね。」

通りすぎるまで、よくたしかめてから、わたらなければだめだよ。」

と、おとうさんと、おかあさんに言われた。車にはねられたら大へんだ。ぼくは、道路をおうだんする時は、右と左をよく見て、車がないのをたしかめてからわたろうと思った。

また、おとうさんを先とうに一れつにならんで大通りを走る。そこから家につくまで、信号が一かしょ、十字路が一かしょある。きまりをまもって、やつと家までついた。

今までは、自てん車にのついても何も考えないことが多かった。これからは、今日、おとうさんやおかあさんに言われたことを思い出して、自てん車のろうと思つた。きちようしたので、のどがからからになつてしまった。みんなとむぎ茶をのんで少し休んだ。

それから、「わが家の交通安全」と、大きな見出しをつけた紙をおかあさんがはつてくれた。それには、道路のあるき方や、おうだんのし方、自てん車ののり方など、五つ書かれてあつた。ぼくは、おねえちゃんといっしょに毎日読もうと思つた。ぼくたちは、学校へ行く時、信号も、おうだん歩道もない十字路を二かしょわたらなければならぬ。おかあさんが書いてくれた「わが家の交通安全」の二ばんめにある「道路をおうだんする時は、右と左をよく見て車がこないかどうかたしかめてからわたる。」をしつかりまもう。

「わが家の交通安全」をきちんとまもることをおかあさんとやくそくした。もうすぐ二学がはじまるが、交通には、じゆう分気をつけてべんきように、うんどうにと、がんばりたい。

歩行者としてのマナー



南犬飼中学校2年 大栗 道子

「あなたは歩行者としてのマナーを守っていますか。」

そう質問されたら、あなたはどうか答えるだろうか。歩行者としてのマナーとは何なのか。小学校四年の頃、学校で立哨当番というものがあつた。学校前の横断歩道に先生方が立たれて、私達に安全な横断の仕方を教えて下さつていた。青になったら左右確認して、手をまっすぐ上に挙げて横断する。私は、「おはようございます。」

と、先生方に元気にあいさつする反面、心の中では、面倒くさい、信号機が赤になれば、車は止まってくれるのだから、左右確認なんて、必要ないんじゃないかと反感を持っていた。結局、私は先生方のいない所で、やったことはなかつた。何となく、はずかしいという気持ちもあつた。しかし、それでいいのか。当たり前前のことを、素直に受けとめ、行動しないでいいのか。自分の横断を知らせるために手を挙げるといふことは、歩行者としてのマナーなのだ。あの時の自分にそう言つてやりたい。

なぜこんなに考え方が変わったのか。それはつい最近だ。部屋の掃除をしている時、ふと母が免許証を取る時に使つていた「自動車運転教本」を見つけた。それを何げなくパラ

パラとめくつていた。その中で目に止まったのが、停止距離についてだった。時速六十キロメートルで走っている時、危険を感じてブレーキがきき始めるまでに進む距離が二十メートルもある。それから、ブレーキがきき始めてから停止するまでの距離が二十メートル。さらに降雨時は1・5倍、降雪時には3倍以上になるといふ。これほど長いとは思わなかつた。これでは、ブレーキをかけても、急に止まらず、事故を起こしたくなくても、起こしてしまつたら。私は、そんなことも知らずに道路を横断していた。けれど、もし飛び出しをして車と衝突してしまつたら、運転手のせいになつてしまふのだ。私は、私達歩行者の、無責任な行動によつて、事故を起こしてしまつた運転手がいると思うと、なんとも申しわけない気持ちになつた。その時からだ。私の考えが大きく変わったのは。

ほとんどの運転手は、細心の注意を払つて運転している。なのに私達歩行者はどうだ。運転手に対して、歩行者の守るべきことはささいなことなのに、それさえも面倒がつて、守らないのだ。歩行者さえマナーをきちんと守れば、事故は、あれつと思うほど少なくなるのだ。

歩行者としてのマナーとは、歩行者に義務づけられたことを守り、運転手を思いやる心を持ち、迷惑をかけないことだと思ふ。マナーの意味を理解したこれからは、作文の最初に書いた質問に、自信を持って、「はい。」と答えられるように、実行したい。

なぜこんなに考え方が変わったのか。それはつい最近だ。部屋の掃除をしている時、ふと母が免許証を取る時に使つていた「自動車運転教本」を見つけた。それを何げなくパラ

保育園入園のご案内

平成8年度の保育園の入園児童を募集します。入園を希望される方は、次により手続きをしてください。

入園基準

就学前のお子さんで、昼間、保護者（両親及び祖父母）が、仕事、病気、出産などの理由により、家庭で保育できない場合です。
また、0歳児の入園は保育園の人員に限りがあります。

入園選考

入園基準に従って、保育の必要性の高い順から入園措置をします。
（申し込み順ではありません）

入園決定

申請書に基づき調査のうえ、来年2月下旬ごろ保護者に通知します。

保育時間

午前8時30分から午後5時まで
（土曜日は午後0時30分まで）

保育料

父母の前年分の所得税、前年度分の町民税の税額により決定します。（祖父母が同居で、家庭の主宰者と思われる場合は祖父母の税額も含みます）



（しもだい保育園運動会より）

○保育園の所在地及び募集人員○

保育園名	所在地	電話番号	募集人数
とおりまち保育園	通町16番9号	82-0330	38人
やすつか保育園	安塚1179番地1	86-0132	32人
いなば保育園	上稲葉935番地2	82-1059	18人
しもだい保育園	駅東町6番23号	82-4815	29人
すけがい保育園	助谷1165番地3	86-0237	12人
壬生寺保育園	大師町11番16号	82-0811	11人
ありんこ保育園	壬生丁75番地14	82-3137	14人

特別保育の

実施について



（園児数に限りがあります）

◎延長保育

（朝）午前7時から午前8時30分
（夕）午後5時から午後7時

・保育の条件

状況を調査し、必要と認められた場合。

・保育料

一般保育料に延長保育料が加算されます。

・実施の条件

各保育園で一定数以上の希望者がいる場合に限り実施します。

◎障害児保育

心身に障害があり、集団生活が可能なお子さんをお預かりします。

◎乳児保育

産休明けの乳児からお預かりします。

・実施保育園

壬生寺保育園
ありんこ保育園

申込方法

入園申請書は町民生部福祉課、各保育園に用意してありますので、必要事項を記入のうえ手続きをしてください。

申込期間

平成7年11月1日（水）

12月8日（金）

※4月1日付入園以外で、やむを得ず年度途中入園を希望したいご家庭につきましては、保育園、人員ともに限りがありますのでご承知ください。

《子育て相談は各保育園へ》

お子さんのしつけ、ことばに関する事など、子育てに関する相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

◆問合せ先

町民生部福祉課児童福祉係 ☎82-1234内線113

第8回企画展

『王者の家』展を開催

◆ 期間 10月22日～11月23日

◆ 会場 歴史民俗資料館

◆ 休館日 月曜日、火曜日（午前中）

◆ 入館料 一般200円（高大学生含む、小中学生は無料）

復元なった国内最大級の家形埴輪

町歴史民俗資料館では、第8回企画展として、平成5年度に発掘調査を行った羽生田地区にある県指定史跡「富士山古墳」から出土した埴輪を展示した『王者の家』展を開催します。

埴輪は、死者を葬る古墳と呼ばれる塚の廻りにたてられるもので、死者の霊を弔い家形埴輪や人物埴輪などさまざまな種類の埴輪がたてられました。

特に家形埴輪は、古墳群の中にあつてはその古墳群を代表するような古墳からのみ出土するとともに、古墳の墳頂部や埴輪群の中央から出土しています。このことは、家形埴輪は古墳で行われる亡き者の霊を弔う儀式の主役を担っているとともに、限られたものだけに許された特別の埴輪であったことを裏付けています。

企画展では、復元作業が完了した富士山古墳出土の国内最大級の家形埴輪二棟とともに、栃木県内及び群馬・埼玉県県内から出土した家形埴輪を展示します。

ぜひこの機会に、古代下毛野国の「王者の家」にふさわしい家形埴輪並びに「みぶ」のすばらしい古墳文化をご覧ください。

【企画展講演会】

羽生田富士山古墳

その巨大な

家形埴輪をめぐって

・日時 11月4日(土)午後1時30分

・会場 壬生中央公民館研修室

・講師 宇都宮大学国際学部

教授 石部正志先生

【羽生田の古墳めぐり】

・日時 11月12日(日)午前9時～12時

・集合場所 羽生田小学校

※詳しくは、町歴史民俗資料館へお問い合わせください。
☎82-0108 内線411・412

富士山古墳出土の埴輪

入母屋造りの家形埴輪

上屋根が取り外せる組み合わせ式の家形埴輪です。

上屋根は、棟上に6本の板格子が表現され、板格子が交差する箇所には貫と考えられる突起があり、板格子の下には、全面に三角文が施されています。

下屋根を含む壁には、長方形と

円形の透かしが開かれています。やや丸味おびた下屋根は、軒が短く、

上屋根同様に全面に三角文が施されています。

上・下屋根全面

に施された三角文

盾（たて）

高さ約150cm。

出土した際、「家形埴輪」を守

るかのよう、墳

頂部の周囲に円筒

埴輪とともにたて

られていました。

盾面には、左右

及び中央に三角文

が線刻されており、

他の盾破片から推

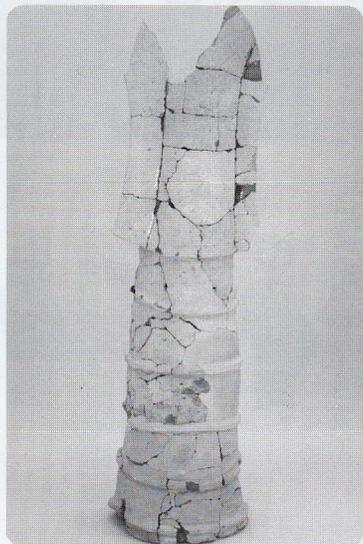
測すると、三角文

と板格子及び貫には、規則的に朱及び黒色により色分けされた箇所がみとめられることから、当時は色鮮やかな家形埴輪であったものと推測されます。

上屋根を組み合わせたときの大きさは160cmを超え、国内最大級の家形埴輪の一つとなります。



内は白及び朱色が施されています。たものと考えられます。



円柱をもつ家形埴輪

12本の円柱をもつ二階建ての入母屋造りの家形埴輪、全国的にも類例のないものです。

一本の円柱は直径が約14cmあり、桁行3間・梁行2間の間取りをとります。柱間に壁はなく、一階床面の柱間には直径約10cmほどの円形の空間が計6か所設けられています。二階床面は大きな広間になっています。

上屋根は、「入母屋造りの家」同様に組み合わせ式のもので全面に三角文が施され、黒及び朱色により規則的に色分けされています。特に、出土したとき地面と接していた側は、今から1,500年前に施されたとは思えないほどの色彩を現在に留めています。また棟上には、13本（現存8本）の朱色の堅魚木が飾られています。堅魚木がのることや壁が無いことから居住用の家でなく、祭り事に使われた特殊な家を模していると考えられます。

大きさは、高さ150cmを超える大型の家形埴輪であることが確認されました。（表紙写真）

円筒埴輪

高さ106cm、底径45cm、推定口径53cm。
外面に7条の突帯をもち、下から3段目と5段目に円形の透かしが対で開かれています。



朝顔形埴輪

高さ157cm、底径36cm、口径49cm。

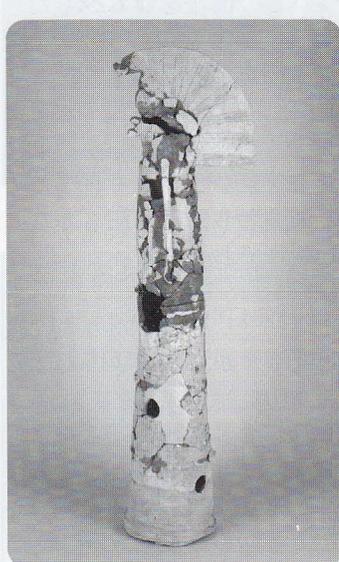
口の部分は、くびれ部からほぼ直立気味に立ち上がります。外面には計9条の突帯をもち、下から4段目と6段目に対して円形の透かしが開けられています。



翳（さしば）

高さ約150cm。

翳は貴人にさしかけられる長い柄のついた団扇のようなもので、権威の象徴として用いられたと考えられています。奈良県高松塚古墳の壁画の女子像にも見られます。団扇の骨は、放射状の線画により表され、区画内は一つおきに朱色が施されています。



平成7年地価調査

土地の標準価格を公表

栃木県知事から9月20日付で、平成7年地価調査基準地の標準価格が公表されました。

これは、国土利用計画法に基づいて、県知事が7月1日を基準日として調査を実施したものです。この価格が民間の土地取引の目安となり、公共事業の用地取得の基準となります。

閲覧希望の方は、町総務部企画財政課へお越しください。

◆調査基準日

平成7年7月1日

◆基準地の価格

単位面積（1㎡）当たり

第1種住居専用地域

○壬生丁字六美117番地17

74,000円

○緑町一丁目1022番地24

「緑町一丁目4番11号」

109,000円

第2種住居専用地域

○表町1928番地2

「表町11番46号」

56,600円

住居地域

○至宝三丁目48番地25

「至宝三丁目4番6号」

56,600円

○落合一丁目18番地31

「落合一丁目18番35号」

74,400円

○中央町327番地3

「中央町2番15号」

80,700円

○本丸一丁目3263番地23外1

「本丸一丁目8番6号」

80,500円

○安塚字宿内1928番地外2

（宅地見込地）

28,000円

近隣商業地域

○緑町二丁目1022番地170

「緑町二丁目5番6号」

147,000円

○安塚字南原1006番地5

105,000円

工業専用地域

○壬生乙字吾妻原3549番地1

26,000円

市街化調整区域

○羽生田字前川原2346番地4外1

18,300円

○国谷字前畑1972番地2

15,700円

○下稲葉字釜ヶ淵64番地1外2

14,500円

STOP AIDS

考えてみませんか！

お子さんの性教育・エイズ教育を

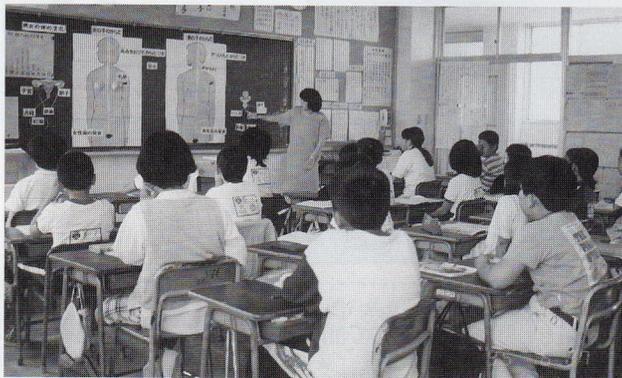
壬生町エイズ教育（性教育）推進委員会

研究の成果発表へ

壬生町教育委員会では平成5・6・7年度の3か年、文部省の指定を受けエイズ教育（性教育）の研究に取り組んできました。11月1日には、壬生中学校で発表会を開催し県内外の先生方に

- ①小学校、中学校、高等学校ではエイズや性をどのように教えたらいいか
 - ②エイズや性を教えるために、学校や家庭そして地域がどのように協力したらよいか
- についての成果を紹介します。

町内の各学校では、単にエイズ感染から自分を守る、というだけでなく男女のあり方や人間尊重という精神からエイズ問題を考えることのできる力を育てること、HIV患者・感染者への偏見や差別を無くすことをめやすとして授業を進めてきました。



授業を担当した先生によると興味本位や遊び感覚でエイズや性を見ることから、自分の生き方としてエイズや性をどう見るか、という子どもが増えつつあるということで、子どもたちのエイズや性についての見方・考え方に変化が感じられるとのことでした。

また、家庭や地域との協力という面では、エイズや学校におけるエイズ教育についての情報をなるべくたくさん提供することを心がけてきました。

特にエイズ教育講演会や家庭教育学級のエイズ講座開催、エイズ教育広報誌、家庭でできる性教育・エイズ教育の手引きの発行などを精力的に行いました。最近のPTA連合会アンケートの結果などを見てみますと、これらの事業に対しての保護者の関心は高くかなりの成果があったことが分析されております。

多くの成果を挙げられた研究ですが、次のような課題も残されました。

- ・教育に携わる教師や保護者のすべてがエイズや性についての正しい知識を身につけること
- ・エイズ教育や性教育は人間教育です。人間の性に対する正しい意識をより一層高めること
- ・これからも継続的に学校、家庭、地域が協力していけるような体制をつくること

これまでの成果をもとに、今後も引き続き研究を推進していくこととなりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

質問にお答えします

「HIV(エイズウイルス)」ってよく言われますが、ウイルスってどういうものなのですか？説明してください。

伝染病（感染症）の病原体を小さい方から並べますと、一般的にウイルス、リッチチャ、細菌、スピロヘータ、原虫などの順になります。

ウイルスは直径が10～300ミクロン(1万分の1～30ミリ)という小さな粒子で、細菌の10分の1～100分の1という小ささです。生物か生物でないか専門家によって議論されるほど特殊な存在です。

遺伝子をもっている点では生物ですが、自分でエネルギーを生産できない、タンパク質をつくる仕組みがない、分裂ではふえない、ということは生物と異なる点です。

このようなウイルスは他の生物の細胞の中に入り込

エイズ ミニ知識 その20

監修 栃木県伝染病予防調査協議会会長
栃木県連合学校保健会会長
松本 幸三

まない限りふえることはできません。なぜかという、ウイルスは自分に欠けている増殖に必要な仕組みを補うために、入り込んだ細胞の仕組みを借用しているからです。

「ウイルスに感染する」というのは、このように細胞の中に入り込むことです。そして入り込む細胞は限られています。ウイルスはそれぞれ決まった生物の細胞に入り込むのです。HIV（ヒト免疫不全ウイルス）はヒトの細胞にしか入り込みません。ですから、ネコやウシはヒトのエイズにはかかりません。逆に人間にネコのエイズがうつるということもありえないのです。

城下町とかんぴょうの里を結ぶ

藤井橋が完成

平成4年度より工事が進められていました県道笹原・壬生線の黒川に架かる藤井橋が完成し9月28日、開通式並びに渡り初め式が行われました。

開通式には、清水町長、佐藤県議、荒川町議会議長や柿沼県土木部技監をはじめ県・町関係者と地元の地権者や関係者など約300名が出席して行われました。渡り初め式では、通行の安全を

祈願する神事の後、関係者によるテープカットやくす玉が割られるとともに、藤井小学校全児童が書いた開通を祝うメッセージを付けた風船が飛ばされました。

続いて、藤井小学校鼓笛隊を先頭に、橋本幸明さん、長 要祐さん、橋本幸男さん一家の親子三代家族や出席者全員による渡り初めが行われました。

新しい藤井橋は、橋長が135m、幅員12m（車道6m二車線、両側2・5mの歩道）で親柱に夕顔の花がモチーフされています。



完成した藤井橋



くす玉が割られると同時に風船が飛ばされました



関係者によるテープカット

共同募金運動

ありがとう、
みんなのきもち。

ひとりひとりの優しさは、社会の資産です。

資料館コーナー

蘭学通りに活躍した明治期の医師たち(6)

市川 寅吉（いちかわ とらきち）
○邸宅は、現在の「中央町・市川弘幸さん」です。



下都賀郡稲葉村・小管常治の二男として1869年（慶応2年）に生まれ、その後、市川治兵衛の養子となりました。

6歳にして稲葉村立小学校に入学生全科を終了、自ら進んで神垣忠固氏の門に入り普通学を修め、また、栃木県立宇都宮病院副院長の勾坂選氏（壬生藩筆頭医・勾坂梅俊の実子）に入門、医学を研究しました。

1884年（明治17年）4月、東都の済生学舎に入学、その課程を修了、翌年3月第一期医術開業前期試験に合格、医学研究に励んでいましたが病気を患い、治療を兼ねて茨城県立医学校に入り直して医学を修学しました。その後、健康が回復すると、再び東都の済生学舎、順天堂病院において勉学に励みました。

1888年（明治21年）10月開業後試験に合格、順天堂病院において臨床実験の研究をしていました。翌年8月に地元有志諸氏の願いにより下都賀郡石橋町に開業しました。しかし、自分の臨床実験の足りなさを痛感し、再び東都の慈恵会病院に入り臨床実験の研究に励みました。その後、病院を辞職、更に東都の井上眼科病院において眼科を専攻しながら東京顕微鏡院講習生を卒業、研究科も修業するとともに順天堂病院において外科手術も研究しました。

1893年（明治26年）に郷里の壬生町に開業、壬生小学校、藤井小学校の校医も務めました。

なお、1898年（明治30年）には、天然痘（痘瘡）が流行し稲葉村種痘医となり予防と治療に尽くしました。

寅吉は、1929年（昭和4年）64歳で没しました。

次回は、若井武一郎翁と石崎楚治翁です。

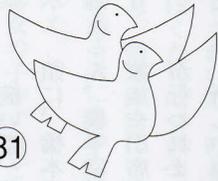
い 広 場

青春スケッチ 53



お達者

カップル⁸¹



上 田 大垣 長治さん(84) 夫妻
チヨさん(83)

「毎日早起きして、適度に体を動かすのが健康のひけつですかね」という大垣さんご夫婦。長治さん



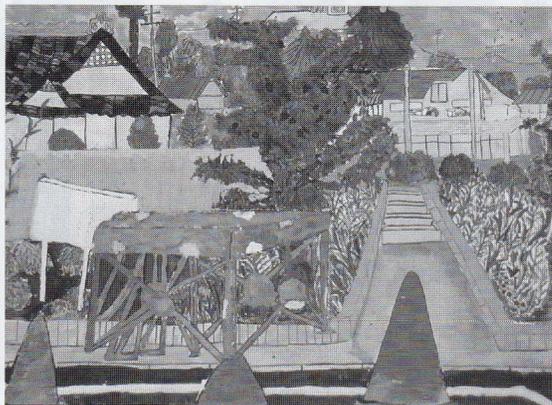
は自転車での運動、チヨさんは掃除や草むしりをすることが多いそうです。

仕事に活かせる資格に挑戦

おもちゃのまち 楠 麻理子さん

「テニス、ゴルフ、スキーなど、いろいろなスポーツをしたり、観戦するのが好きですね」という麻理子さん。

休日は「音楽を聴いていることが多いですね。ほかに、旅行に出掛けたり、じっくりと料理に取り組んだりもします」という彼女、「仕事に活かせるよう、コンピュータ関係の資格を取りたい」と話すとても前向きなお嬢さんです。



「校庭からの風景」

壬生小学校5年

中 田 仁 美



「ゆめの中のとり」

壬生小学校2年

川 島 圭 吾



私の作品

ふれあ



写真右から人見会長、二瓶さん、石村さん、清水町長

長治さんは大正15年に南犬飼尋常高等小学校を卒業後、家業の農業に従事しました。

その後、宇都宮市出身で大正12年に姿川尋常小学校を卒業して東京で働いていたチヨさんと、昭和6年に結婚しましたが、昭和19年に召集を受け、神奈川県横須賀海軍に入隊、昭和20年に山形県神町で終戦を迎え、昭和21年に実家に戻り、農業を再開しました。

また、長治さんは農業のかたわら、媒酌人として今まで20組のカップルをまとめたそうで、「縁結びのお手伝いをするのが好きなんでしょうね」と話していました。

なお、お二人は現在も農業を続けており、米やごぼうなどを作っているそうです。

お二人の趣味は、13年ほど前に始めたゲートボールで、週2回の練習にはほとんど欠かさず出ているそうです。また、民謡もお好きだそうで、「上田神社で週1回行われる民謡教室にもよく出掛ける」ということです。

結婚して今年で66年目になるというお二人、「自分たちの代からひ孫の代まで、4世代7人家族で楽しく暮らしています。たくさん家族に恵まれて幸せですね」と話してくださいました。

県女性ドライバー安全運転競技大会

石村セツ子さん (MT車の部) 二瓶美恵子さん (AT車の部)

第16回栃木県女性ドライバー安全

全運転競技大会が10月1日、鹿沼市の県運転免許センターで行われ、栃木地区を代表して本町女性ドライバークラブ(人見イハ会長)からMT車の部に出場した石村セツ子さん(至宝町南)並びにAT車の部に出場した二瓶美恵子さん(上表町)は、各部において見事優勝

見事優勝

に輝きました。

この大会は、女性ドライバーが安全運転の技能と知識を競うとともに、会員の親睦と交流を深めながら、運転技術の向上と交通ルールの知識を更に高めあい、交通安全意識の高揚と交通事故防止に寄与することを目的に実施されています。

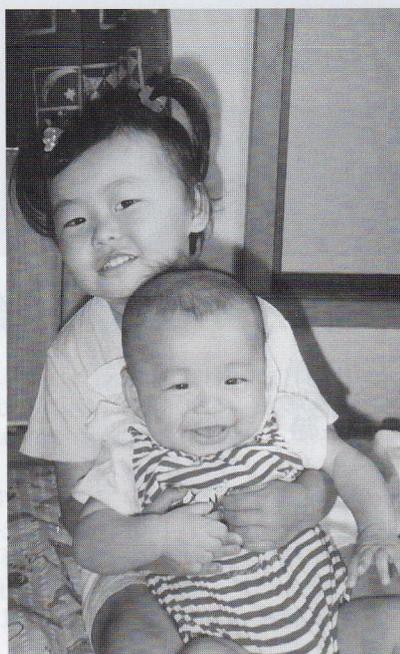
ちびっ子アルバム



いくみ 郁美ちゃん(2歳・右)・なるみ 成美ちゃん(4歳・左)

(父) 桑川 健 司さん
(母) 〃 由美子さん (安塚南部)

お母さんから一言
素直でやさしい子に育ってね。



まい 麻衣ちゃん(3歳)・なおき 尚樹ちゃん(4か月・手前)

(父) 渡辺 剛史さん
(母) 〃 昌代さん (落合)

お母さんから一言
姉弟仲良く元気に育ってね!

町学校音楽祭

すばらしい

合唱・合奏が披露される

壬生町小・中学校音楽祭が9月8日、壬生中央公民館で行われ、町内の小・中学校から15チームが出場し、すばらしい合唱や演奏が披露されるとともに、合唱・合奏の腕が競われました。

合唱の部で壬生小、壬生東小、安塚小、壬生北小、南犬飼中、壬生中、合奏の部で藤井小、羽生田小、壬生小、睦小、壬生中、南犬飼中が、9月28日、10月2日に栃

本市文化会館で行われた下都賀地区学校音楽祭に出場しました。

その結果、10月24日、26日に宇都宮教育会館で行われる県大会には次の7校が選ばれました。

合唱の部

◎壬生東小学校 (34人編成)

◎南犬飼中学校 (33人編成)

◎壬生中学校 (35人編成)

◎合奏の部

◎藤井小学校 (77人編成)

- ◎羽生田小学校 (全校編成)
- ◎壬生小学校 (37人編成)
- ◎睦小学校 (38人編成)



46チームが熱戦を展開

9月30日、10月1日の両日、町ソフトボール協会（塩澤弘会長）主催の「第4回ゆうがおマラソンソフトボールinみぶ」が町総合運動場で開かれ、46チームが参加、「ゆうがお」、「ひばり」の二チームに分かれ、2日間、延べ24時間のマラソンソフトボールに挑戦しました。

試合は計23試合、140回まで熱戦が展開され、ひばりチームが終盤逆転、162対161で勝利をおさめました。なお試合の途中には、宇都宮女子商業高校ソフトボール部の模範試合も行われ、すばらしいプレーに多くの観客の目を楽しませました。

町内のお年寄りを招き 敬老のつどい開く

長寿を祝う敬老のつどいが9月22日、壬生中央公民館で催され、町内の74歳以上のお年寄りが招待されました。

楽しい一日を過ごしていただくようと式典の後には、浪曲や落語、歌謡曲などが行われ、会場に出席された約800人のお年寄りは、たいへんくつろいでいました。

安全な自転車の乗り方の指導を受ける

高齢者交通安全のつどい

秋の交通安全期間中の9月26日、壬生町女性ドライバークラブ（人見イハ会長）主催の高齢者交通安全のつどいが、町総合運動場管理棟において老人クラブのお年寄りや夜間でも目立つ赤い蛍光ジャンパーを着た女性ドライバークラブ員が大勢参加して行われました。

夜間の歩行はできるだけ明るく目立つ服装をする、自転車等に乗るときは必ず左右を確認する、車に乗るときは必ずシートベルトをするなどの励行のお願いがあった後、会場を運動場に移し、「安全な自転車の乗り方」の実技が行われ、参加者一人ひとり自転車による正しい交差点の渡り方の指導を受けていました。

交差点の正しい自転車の横断方法の指導を受ける



果敢に火に対処

町婦人防火クラブ消火競技大会

壬生町婦人防火クラブ（大畑トシ会長）では、クラブ員の消火技術の向上を図りながら、万一の火災発生に際して被害を最小限度にとどめるための心構えと実践を体験しようとして9月19日、町総合運動場で第13回壬生町婦人防火クラブ消火競技大会を行いました。

競技内容は、指揮者と消火者の2人が1組になって、簡易消火器を使い燃焼皿の火をいかに迅速、的確に消火するかを競うものです。

競技者の皆さんは、スタートの合図とともに2人力を合わせて勢いよく燃える燃焼皿の火に向かい、果敢にして、機敏な動作で消火を行っていました。

成績

優勝 坂田寿子・大森和枝組
準優勝 大栗トク・山田キクエ組
三位 亀田愛子・伊藤サイ子組
なお、上位3組は10月9日に行われた石橋地区消火競技大会に出場しました。



写真前列坂田・大森組
後列右から大栗・山田組
亀田・伊藤組

上通町敬老会

お年寄りとの親睦を深める

上通町自治会（島根定代会長）の恒例行事である敬老会が9月15日、上通町公民館で開かれ、自治会内の70歳以上のお年寄り約40名が招待されました。



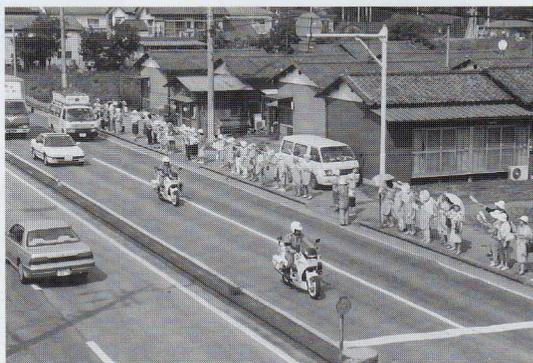
敬老会は、長寿を祝い、お年寄りとの親睦を深めるために、20年ほど前から毎年行われています。当日は自治会の役員さんなどが準備にあたり、また自治会内の商店・飲食店から飲食物の寄付をいただき、食事や会話などに楽しいひとときを過ごしました。

みんなですすめる “交通安全キャンペーン”

全国キャラバン隊を歓迎

壬生町交通安全母の会（田中ミヨ会長）では9月8日、（朝日）全国交通安全母の会連合会・栃木県交通安全母の会連合会が主催となつて、全国各地の母親の手による“みんなですすめる交通安全”をスローガンに交通安全キャンペーンを展開している全国キャラバン隊を、多数の会員が沿道において歓迎並びに激励しました。

全国キャラバン隊は、悲惨な交通事故を減少させ、安全で快適な交通社会の実現を旨とするため、シートベルトやチャイルドシート着用推進など、交通マナーの向上を呼びかけました。
壬生町交通安全母の会では、年間を通して各地域で交通安全教室などを開き、交通事故防止を呼びかけています。



沿道でキャラバン隊を迎える
母の会の皆さん



文化協会文芸部選



短歌

エンジンの音たて耕しておれば
日傘の友が手をあげてゆく
和久井 香
干瓢作り今年も止める家ありて
特産物の減るはさびしき
篠原 マサ

古稀と言うは人のことかと思ひぬ
しが気がつけば我に迫りおりぬ
黒尾 壮
還暦を機に漬け初めしらつきよ
うを洗っておれば母の面影
神林 文恵

俳句

秋涼し糸なめて針通す夜
高橋 田鶴
うしろ手に組めば秋風うしろより
伊沢 克明
萩活けて夫との余生食い違う
山田 カツ
新涼や組洗うひとり者
高田 昭夫



俊才 イーゴリ・ゴロフチン指揮

モスクワ管弦楽団演奏会

◎日 時 11月18日(土)
 開場：午後6時、開演：午後6時30分
 ◎会 場 壬生中央公民館大ホール
 ◎入場料 4,500円(全指定席)



◎入場券 壬生中央公民館、稲葉出張所、南犬飼出張所で取り扱っています。
 ◎主 催 財団法人壬生町施設振興公社
 ◎後 援 壬生町教育委員会
 ◎問合せ先
 壬生中央公民館 ☎82-0108
 財団法人壬生町施設振興公社 ☎86-7117



農産物即売所

ふくべの里オープン

藤井むらづくり推進協議会(小谷野幸作会長)農産物直売所部会(阿久津勝部会長)の農産物即売所・ふくべの里が9月28日オープン。

会員の皆さんが丹精を込めて作った新鮮な農産物を毎週土曜日に販売します。



ぬいぐるみミュージカル

モロコシの子やと

☆日 時 12月10日(日)
 開場：午後1時
 開演：午後1時30分
 ☆会 場 壬生中央公民館大ホール
 ☆入場料 800円(全自由席)
 ＊子ども・おとも同じ料金です。
 ＊3歳以上は有料となります。
 ☆入場券 壬生中央公民館、稲葉出張所、南犬飼出張所
 出張所、南犬飼出張所
 で取り扱っています。
 ☆主 催 財団法人壬生町施設振興公社
 ☆後 援 壬生町教育委員会
 ☆問合せ先
 壬生中央公民館 ☎82-0108

寄 付

(社会福祉協議会)
 (○数字は寄付回数)

金3千円④ 渡部 和平様
 金3千円② 渡部あや子様
 金3千円② 小林 榮様
 金1万円② (有)県南環境様
 金9千886円① 糸川カツエ様
 金3千円① 野口百合子様
 金1万455円④ 渡辺 寅八様
 金5千155円② 深津 ハナ様

11月の納税等

●国民健康保険税(5期)
 ●国民年金(11月分)

(納期限11月30日)
 納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

まちのうごき

10月1日現在

総人口 40,070人 (26)
 男 19,778人 (11)
 女 20,292人 (15)
 世帯数 12,387世帯 (11)
 ()内は前月比